

# JCO 臨界事故 24 周年集会

## JCO 臨界事故集会に参加して

今回 JCO 臨界事故集会に初めて参加しました。  
事故から 24 年経った今でも決して忘れてはいけない出来事で、これからも後の世代に伝えていくべきということが分かりました。  
一度、事故が起きてしまえば、いま目の前にある当たり前の日常が簡単に失われてしまいます。  
当時、日本初の放射線被曝による死亡者を出してしまったこの原子力災害。  
日本は被害に遭われた方々の意見を無視して今も原子力事業を推し進めています。  
二度とこのような事故を繰り返さないためにも国民全員がこの事故について考え訴え続けていかなくてはならないと思います。  
被害者遺族の思い、事故の悲惨さを知れば誰もが脱原発を掲げると私は思います。  
そのためにもこの集会に参加出来なかった家族や友人、職場の仲間などに今日得た知識を伝えることが私にできる行動だと思います。  
また、今日は 30 名以上の全港湾の東北の仲間たちが集結しました。  
集会やデモ行進を通してより強い横のつながりを感じました。  
この仲間たちと共にこれからも同じ目標に向かって頑張りたいと思います。

全港湾八戸支部 青年婦人部  
部長 夏堀 陸



JCO 臨界事故を忘れない！原子力災害をくりかえすな！  
JCO 臨界事故 24 周年集会



コレイカ  
タイム 0051

# 日米共同訓練23反対道東集会



## 日米共同訓練23反対道東集会に参加して

9月18日に釧路市栄町平和公園にて、「日米共同訓練23反対道東集会」が開催され、釧根平和運動フォーラムを中心に友誼団体も集まり150名ほどが参集し釧路支部からも川村委員長を含めた12名で参加しました。当日は9月にも関わらず、釧路でも暑い中での集会となりました。主催者から「日米共同で戦争を遂行するための実動訓練は認められない」と力のこもった挨拶から始まり、立憲民主党北海道第7区総支部篠田奈保子代表をはじめ3名が参加者の声として発言し、最後は活気あるシュプレヒコールを行い集会が終了しました。

防衛省は9月14日から23日にかけて、日米両部隊約3,500人が参加する日米共同訓練「オリエント・シールド」を実施し、上富良野演習場や静内対空射場では共同戦闘訓練が行われ、丘珠駐屯地や帯広駐屯地では一部のヘリ部隊が使用、矢白別演習場では米陸軍の高機動ロケット砲システム「HIMARS」や陸自の多連装ロケットシステム「MLRS」の実弾射撃訓練を行うことを発表しました。年々、訓練道場と位置付ける道内での日米共同訓練は実戦に近い形で規模拡大しています。北海道の軍事基地化や訓練拡大の常態化を阻止していく必要があると思いました。

今後も共闘を含めて積極的に集会へ参加していきたいと思います。

北海道地本書記次長 川奈部 若之